



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホーム東雁来	階数	地上3F
建設地	札幌市東区東雁来町198-88、213-1、214-1	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、東雁来第二地区、法22条区域	平均居住人員	90人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年5月 予定	評価の実施日	2016年12月1日
敷地面積	4,940㎡	作成者	
建築面積	1,845㎡	確認日	2016年12月19日
延床面積	4,892㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 87%
③上記+②以外の 87%
④上記+ 87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項

<p>総合 東区の再開発地区に新築される特別養護老人ホーム。ショートステイ10名と特養80名の入所を予定しています。地域住民の災害時避難施設としての福祉避難スペースや備蓄倉庫、シャワー室などが設けられています。</p>	<p>A 省エネルギー 建物は内断熱としており、入居者の居室は熱損失の低減に考慮し、アルミサッシ+樹脂サッシ(ペアガラス)としています。また、節水型水栓や熱交換型換気扇、照明にはLED照明を採用し、省エネルギー化に努めています。</p>
<p>B 省資源等 地域材や道産材を積極的に採用し、省資源化に取り組んでいます。また、都市ガスの採用により、輸送コストの削減に考慮しています。</p>	<p>C 緑化 敷地周辺に低木や高木を適所に植樹し、町並みに潤いを与え、親しみやすい施設づくりを目指しています。</p>
	<p>D 雪処理 歩行者への雪害対策として、車寄せ部分をロードヒーティングとしています。また駐車場の除排雪に配慮し、堆雪場を各所に設けています。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される